

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 18 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		更生保護女性会活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	地域防犯対策の充実	課長名	後藤一男
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	総務課	担当者名	長島正和
	基本事業	5	地域防犯対策の充実			所属班	交通防災班	(内線)	1224
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市更生保護女性会事業補助金交付要綱	
		1	2	1	4	10031		成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6	
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☒ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	罪を犯した者又は非行を犯した青少年の更生、犯罪予防め啓発等、支援を行う更生保護女性会への活動支援事業である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・人口の増加と比例していく青少年の犯罪の増加を防止することを目的に開始された。 ・人口の増加に伴い、青少年の非行も増えてきている。更には、大型ショッピングセンターの進出により窃盗などの犯罪も増加傾向にある。
【業務の流れ】	補助金の申請受付、審査、決定、支出。研修への引率。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 半段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
補助金の交付。		・補助金の交付。
研修会への参加。		・研修会への参加。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標		(単位)
⇒ ア 主催事業参加回数	回	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
更生保護女性会員		⇒ ア 更生保護女性会員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
会の主催事業に活発に参加できるようになる		⇒ ア 事業に参加したのべ人数 人
* ⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠		
「会員が事業に活発に参加できるようになる」ことを、事業に参加したのべ人数で判断することとした。		
22年度の目標数値は、		

(2) 各指標・総事業費の推移			単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回		30	43	45				
	イ									
⑤ 対象指標	ア	人		100	89	100				
	イ									
⑥ 成果指標	ア	人		750	556	750				
	イ									
投資量	事業内訳 費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	90	81	81	81	81	81	
		(A) 事業費計	千円	90	81	81	81	81	81	0
		(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	70	80	80	84	84	84	
		(B)人件費計	千円	278	320	318	334	334	334	0
トータルコスト(A)+(B)			千円	368	401	399	415	415	415	0

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

合志市

事務事業名	更生保護女性会活動支援事業	所属部	地域防犯対策の充実	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】	☐ 向上余地がない ⇒【理由】 会員への働きかけを積極的に行うことで、より活発な活動を行えるようになると思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】 更生保護女性会への支援事業は、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 合志市更生保護女性会規約により定められた補助対象経費により支出しており、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 主に補助金支払、研修会等の事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民を特定することなく事業を展開しているため公平である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 更生保護女性会への支援事業は、行政が行うべきものである。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐ 廃止
☐ 休止
☐ 目的再設定
☐ 事業統廃合・連携
☒ 事業のやり方改善(有効性改善)
☐ 事業のやり方改善(効率性改善)
☐ 事業のやり方改善(公平性改善)
☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

新しい会員の加入促進に努め、活動の活発化を図る。